

浸水から街を守る『いろは呑龍トンネル』

いろは呑龍新聞第 19 号～平成 29 年 6 月号～



いろは呑龍トンネルがテレビで紹介されました。

「いろは呑龍トンネル」が、KBS 京都テレビの「おやかまっさん」番組内の「みんなの京都ふらり～」コーナーで紹介されました。同ホームページでは放送を動画で見ることができます。「いろは呑龍トンネル」の活躍がたっぷり紹介されていますので、是非ご覧ください。

<https://www.kbs-kyoto.co.jp/tv/furari/> (みんなの京都ふらり～HP)



みんなの京都ふらり～
(地域にお住まいの森川さん)



みんなの京都ふらり～
(乙訓ポンプ場)



取材風景
(南幹線立坑内)



「いろは呑龍トンネル」の概要、これまでの貯留実績、浸水被害の軽減効果や現在工事中の南幹線について、紹介していただきました。また、番組に出演された地域の方からは、「いろは呑龍トンネル」の効果によって浸水被害が減り、感謝しているとお言葉をいただきました。今後も、浸水被害の一層の軽減につながる南幹線の完成に向けて、取り組んでいきます。

「いろは呑龍トンネル」南幹線の工事現場で土木学会関西支部主催の見学会が開催されました。

いろは呑龍トンネル南幹線の工事現場で土木学会関西支部主催の小中高生を対象とした見学会が開催され、68名の参加がありました。

「いろは呑龍トンネル」の施設概要や貯留実績などの紹介後、セメントを使った実験や普段の見学では見ることのできないトンネルの中を見学した子供達は大喜びでした。

土木学会 見学会
(中央監視室内)



土木学会 見学会
(南幹線立坑内)



土木学会 見学会
(南幹線立坑上部)



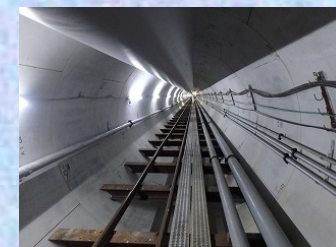
土木学会 見学会
(セメントを使った実験)



土木学会 見学会
(泥水処理プラント)



坑内の状況
(南幹線)



<工事の進捗状況>

南幹線トンネル掘削機が、掘削の困難な粘土層を通過しました。

【雨水南幹線計画図】

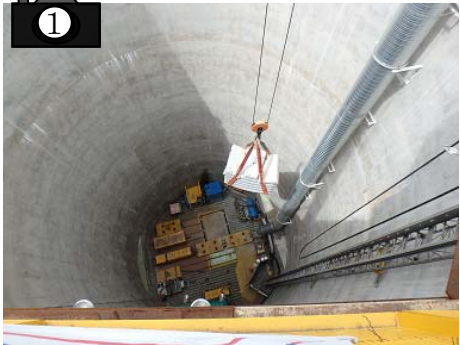
- 雨水南幹線 (未施工)
- 雨水南幹線 (施工済)

○雨水南幹線の概要
 掘削延長：4,069m
 内径：3.5m
 土被り（深さ）：約20m
 掘進速度 初期 約6m/日
 本掘進 約13m/日
 到達 約5m/日
 工期：平成27年3月25日～
 平成31年3月25日

○雨水南幹線の掘進状況
 (平成29年6月15日現在)
 2,960m / 全長4,069m
 【 72% 】



発進立坑内 (坑口) の状況



泥水処理プラント (全景)



トンネル内部の状況



発進立坑 (京都府洛西浄化センター内)

